

第2節 生活環境



梅田川ふれあいクリーン作戦

第2節 生活環境

1. 生活環境の概況

(1) 公害防除施設整備事業の実績

ア. 補助金

昭和46年度から中小規模事業者の実施する公害防除施設整備事業の事業費の20%、限度額100万円の補助を実施してきた。さらに、昭和52年度からは、要綱の一部改正により、3か年措置として、特別に農地還元施設について事業費の40%、限度額40万円の補助を実施した。(農地還元施設への補助は平成16年度で終了。)

また、昭和55年11月1日から昭和56年6月30日までの間、総量規制に伴う汚濁負荷量の測定機器整備についても補助を実施した。

補助金交付実績内容は表1のとおりである。

イ. 愛知県公害防除施設整備資金融資実績(豊橋市内分)

県融資実績のうち、豊橋市内の関係分は、表2のとおりである。ただし、平成16年度からは愛知県環境対策資金融資に改めて実施している。

(表1) 豊橋市公害防除施設等整備費補助金実績一覧表

(単位:千円)

年度	件数	金額	ばい煙・粉じん		汚水		騒音・振動		悪臭		農地還元施設		計測機器	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
46 ~ 8	394	257,520	35	26,426	98	78,864	36	20,624	6	2,831	181	119,675	38	9,100
9	1	1,000	1	1,000										
10	0	0												
11	3	1,788			1	1,000	2	788						
12	2	1,105	1	105			1	1,000						
13	5	3,696	3	2,161			1	535			1	1,000		
14	1	1,000	1	1,000										
15	1	55					1	55						
16	17	15,625					1	305			16	15,320		
17	1	798					1	798						
18	1	488					1	488						
19	0	0												
計	426	283,075	41	30,692	99	79,864	44	24,593	6	2,831	198	135,995	38	9,100

(表2) 愛知県公害防除施設整備資金融資実績(豊橋市内分) 平成16年度以降は、愛知県環境対策資金融資 (単位:千円)

年度	件数	金額	ばい煙・粉じん		汚水		騒音・振動		悪臭		産業廃棄物		移転等		最新排ガス規制適合車		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	台数	金額	
40 ~ 8	384	5,084,970	74	849,800	122	1,736,960	20	305,210	6	58,400	35	580,900	73	1,090,900	54	80	462,800
9	17	157,800	3	23,700	1	5,400							8	86,400	5	6	42,300
10	7	83,600								1	18,000	3	32,800	3	5	32,800	
11	8	73,300	2	16,300						1	20,000			5	5	37,000	
12	5	75,400												5	6	75,400	
13	3	30,400												3	4	30,400	
14	4	98,400					1	18,900		1	50,000			2	3	29,500	
15	9	78,300												9	14	78,300	
16	8	61,800	1	12,600										7	7	49,200	
17	1	13,000	1	13,000													
18	0	0															
19	0	0															
計	446	5,756,970	81	915,400	123	1,742,360	21	324,110	6	58,400	38	668,900	84	1,210,100	93	130	837,700

(2) 公害防止管理者等

特定工場における公害防止組織の整備に関する法律により特定工場には、公害防止統括者、公害防止管理者及びこれらの代理者の選任届出が義務づけられている。

平成 20 年 3 月末日現在の公害防止統括者等の選任の届出状況は以下のとおりである。

公害発生施設と公害防止管理者

			人数（選任工場数）		左記の代理者（選任工場数）	
公害防止統括者			52	(52)	48	(48)
公害防止主任管理者			1	(1)	1	(1)
公害防止管理者	大気関係	第1種	6	(5)	3	(3)
		第2種	1	(1)	1	(1)
		第3種	7	(4)	5	(3)
		第4種	14	(14)	12	(12)
	水質関係	第1種	4	(3)	3	(3)
		第2種	13	(13)	9	(9)
		第3種	2	(2)	1	(1)
		第4種	9	(5)	8	(6)
	一般粉じん関係		11	(11)	10	(10)
	騒音関係		20	(20)	15	(15)
	振動関係		19	(19)	15	(15)
	ダイオキシン類関係		3	(3)	3	(2)

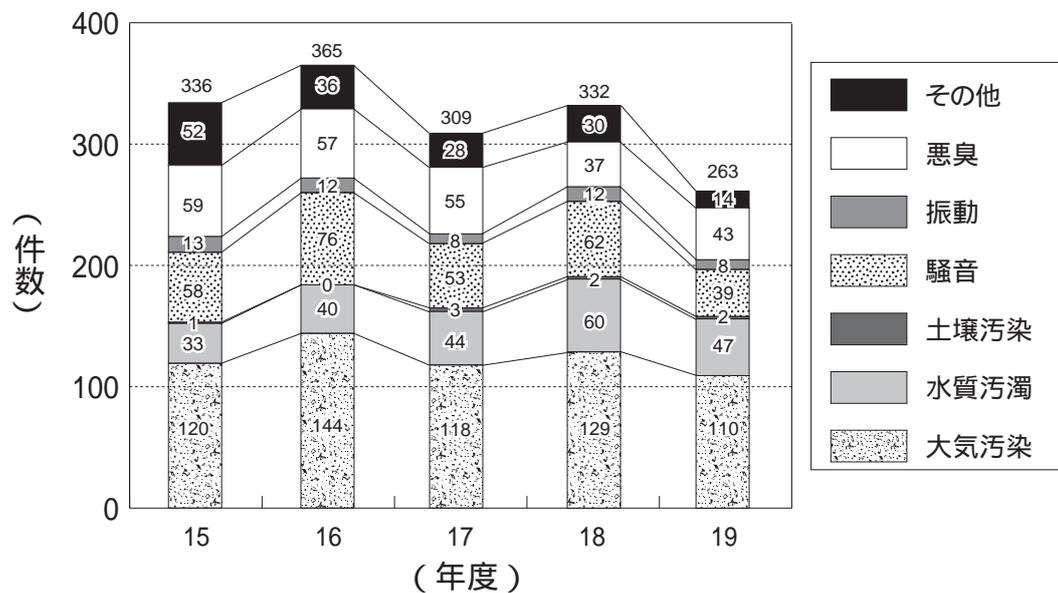
(3) 公害に関する苦情の現状

平成 19 年度の公害苦情種類別件数は 263 件であり、内訳としては大気汚染が最も多く（110 件）続いて水質汚濁（47 件）悪臭（43 件）の順となっている。

また、発生源別・用途地域別件数は 243 件で、発生源別にみると製造業が 42 件（17.3%）、農業・林業等が 42 件（17.3%）、家庭生活が 32 件（13.2%）、サービス業が 31 件（12.8%）の順で多く、用途地域別にみると市街化調整区域が 117 件（48.1%）と圧倒的に多く、続いて住居系地域が 62 件（25.5%）となっている。

発生源別・用途地域別件数は、公害苦情種類別件数（1 件に対して 2 種類以上の苦情の場合がある）とは件数が異なる。

公害苦情種類別件数の推移（平成 15 年度～平成 19 年度）



「その他」の内訳

年度	区分	光害・日照	不法投棄	ふん・尿の害	害虫等の発生	その他	計
平成 15 年度		2	36	2	1	11	52
16		1	33	1	1	0	36
17		2	11	0	0	15	28
18		1	7	0	0	22	30
19		0	0	0	0	11	14